

# MEMBER COMPANY INTERVIEW

Vol. 2

シーズアスリートに入会いただき5年  
きめ細かな心遣いで  
パラアスリートを支援してくださる  
株式会社リンクレアさまは  
さまざまな交流の機会を通して  
`感性。を磨き、気づきを共有し、  
社員の皆さんの幸福感を追求されていま  
す。  
自由でアグレッシブな視点で  
未来ビジョンの具現化に取り組まれている  
吉澤均社長に、お話を伺いました。

## 株式会社リンクレア

代表取締役社長

# 吉澤 均

### Profile

よしざわ・ひとし ー 1959年生まれ、東京都出身。1983年、中央大学理工学部管理工学科を卒業。ビーコンシステム株式会社(現・リンクレア)入社。技術本部長、営業本部長、常務取締役、専務取締役、取締役副社長などを経て、2019年に代表取締役社長に就任。中学時代は相撲で身体を鍛え、現在の趣味はゴルフ。

ー 2018年の入会以来、力強く温かな支援をいただいています。貴社ではDE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン／多様性・公平性・包括性を取り入れ、公平な機会のもと多様な人材が互いに尊重しあい、個人が能力を発揮できる環境を実現する概念)が着実に根づいているようですね。

シーズアスリートを知ったきっかけは、業界のフォーラムで浦田理恵さん(ゴールボール シニアアドバイザー)の話を聞いたことでした。印象的だったのは「失ったものより得たものの方が大きい」という言葉。弊社にはもともと「自分の欠点を知った上で長所を伸ばせ」「とんがった人間でいろ」という考えが根づいているので、浦田さんの価値観や生き方にどこか共通点のようなものを感じたのです。

初めてシーズアスリート事務局の方と名刺交換をした際も、併記されている「サービス介助士※」という資格を見て、すぐ社員に資格取得を指示しました。弊社でもユニバーサルトイレの導入やエレベーター内に鏡を設置するなど、共生社会に向けた環境整備を進めているのですが十分に活用できていない。社内に有資格者がいれば、幅広い視点で多様な方々をお迎えできるのではないかと考えました。取得後は、車いすのお客さま対応などに資格で得た学びがいかされ、彼女を見た他の社員も良い刺激を受けているようです。

※サービス介助士……高齢者や障がい者など多様な人々が自由に社会参加できるよう、「おもてなしの心」と「介助技術」を通じて安全なサポートができることを証明する公益財団法人日本ケアフィット共育機構の民間資格。高齢者や障がい者が利用しやすいサービス・商品の提案や、パラスポーツのボランティア活動など、幅広い分野でニーズが高まっている。

ー 東京2020パラリンピックで女子ゴールボールチームが銅メダルを持ち帰った際には祝勝会を開いてくださり、点字名刺も注文していただくなど、細やかな支援の背景にはどんな思いがあたりでしょうか。また、シーズアスリートとの関わりが貴社にどのようなメリットをもたらすとお考えですか。

コロナ禍で出張マッサージに来られなくなった信沢用秀さん(ゴールボール)に、「何かできることないの?」と尋ねたところ、彼が点字名刺を作成していると知って「それならぜひ」とお願いしたまでです。私たちにとっても点字名刺は、初対面で話のきっかけになっています。

また、川野将太さん(車いすテニス)など他のメンバーと

パラアスリートとの  
ざっくばらんな交流で  
感性を磨いています



# デザイン思考で 思考の壁をぶち破り ウェルビーイングを追求する

話すうち、それぞれに苦労があること知り、できる限りの協力をしたいと思いました。特別な理由があるわけはありません。一人ひとりとざっくばらんに交流するのが楽しいからです。

シーズアスリートのビジネスモデルは、目に見えない垣根を自然に取り払ってくれます。交流を通じて心の距離が縮まり、私たちは多くの気づきを得ている。DE&Iへの風土醸成も着実に進むと期待しています。

## ―何か、印象に残るエピソードはありますか。

タクシーで行き来するという信沢さんに「どうやってタクシー止めるの?」と聞いたことがありました。(見えないのに?)という素朴な疑問です。すると彼は「自分が立っている位置が、空間察知能力でだいたいわかるので大丈夫なんです」と涼しい顔で答えました。

浦田さんが、美しい絵の方向を向いて「すごきれい!」と言った時も驚きました。見ると、シーズアスリート事務局の方が耳元で絵の雰囲気や色合いなどを伝えていきます。それを聞いて脳裏に絵が浮かぶのでしょうか。彼女は常に、その場の空気感を敏感に感じ取れるのだそうです。

私の(見えないのに?)という疑問は、先入観でしかないと思い知らされました。視力だけでなく、彼らは体感や心、脳裏のスクリーンなどで世界を感じながら人生を楽しんでいる。心地よいカルチャーショックのような感覚を覚えました。

弊社は今後「社会課題をITで解決する」というテーマに向かって歩みを加速させますが、そのために必要なのが`感性。です。シーズアスリートの皆さんとの関わりで`感性。の大切さを再認識しますし、とにかく右脳が刺激されます。目の前の課題をサイエンスで解くのか、アートで解くのかという視点。アートの言えば、デザイン思考で物事をとらえるワークショップでも若者は非常に柔軟です。一方、中堅マネジメント層に同じことをさせ



ると夕方にはみんな疲れ切っていますね。

## ―貴社は過去3年間の新卒社員を対象に『暗ラーニング研修』を実施されています。研修後、皆さんに何か変化はありましたか。

彼らはコロナ禍の入社のため、同期で一緒に過ごす機会がこれまで皆無でした。そこで去年の秋、同期会を兼ねて『暗ラーニング研修』を行いました。2020年・2021年・2022年の入社年ごとに、それぞれ約40名ずつが集った研修はとても評判が良く、初めて同期でゆっくり過ごしてモチベーションも上がったようです。研修にはパラアスリートの方々も参加してくださり、ゴーグルやボールを片づける際には自然なやり取りをしていました。今の若者は小さい頃から多様性教育の中で育っているのです、肌感覚で関わり方を理解できるのかもしれないですね。

## ―貴社は激動する時代の中でも安定した事業実績を続けられています。その要因は何でしょうか。

企業として利益を上げるのは当然ですが、利益が上がっても社員に還元されなければ何の意味もありません。私が大切にしているのは社員の年収と労働時間です。残業が不可避な時期もあるため年間労働時間で考え、タイミングを見て長期休暇を取得させるなど、年収と労働時間のバランスを重視しています。

また「楽しさ」「やる気」「やりがい」の指数を設け、「ワクワク度」として定期的にチェックしています。ワクワクとは、ウェルビーイング(Well-being／その人にとって心身とも

に究極に満たされた状態)です。これを追求すれば生産性が高くなると仮説を立て、社内アンケートの結果を人事施策に反映させています。アンケートから若い社員が工夫して生産性を向上させるケースが見えてきて、なかなか興味深い結果が得られました。一人ひとりの工夫は小さくても積み重なれば大きな生産性向上につながる。そんな流れが、若い社員から生まれているのはとても嬉しいですね。

## ―推進中の『VISION2025(リンクレアの目指す姿)』についてお聞かせください。

設立50周年に向けて進めた『VISION2020』に続くのが『VISION2025』です。向こう10年では外部環境の変化があまりにも大きいだろうと思い、5年刻みにしました。併せて立てた『ROAD TO 2030』の一環としての『VISION2025』と位置づけています。

弊社はこれまで、システムインテグレーターとしてシステム構築能力を問われ続けていました。これをサービスインテグレーターへ進化させるのが『VISION2025』です。最終的

にサービスインベーターとして確立することが『ROAD TO 2030』のめざすところ です。多くの企業の関心は、デジタルで新たな収益構造をつくるより、デジタル活用によるコストダウンへ向いています。それでも私たちは先を見据えて、新たな働きかけを積極的に進めています。

『ROAD TO 2030』に向け、新たな感性を意識した人材登用にも着手しました。例えば、社内デザイナーを採用してホームページをリニューアルしたり、「伝えるデザインから、伝えるデザインへ」というテーマで社内講演をしてもらったり。また、世の中ではDX(デジタルトランスフォーメーション)に向けた動きが加速していますが、デジタルは大手企業にお任せし、弊社はトランスフォーメーションに軸足を置いた展開を進めていきます。

## ―設立から半世紀を経た今、設立100周年の頃にはどんな企業でありたいとお考えですか。

やはり、お客さまと一緒に課題解決できる企業であり続けたい。どれだけ多くのお客さまと関わっているかが大切だと思っています。自由に動き、自由に考え、自由に仕事を創り出せるのが独立系ITの魅力です。シーズアスリートの皆さんとは今後、一緒に新しいビジネスを生み出せるような関係へステップアップできたら嬉しいですね。互いにアイデアを出し合い、ワイワイやりながら、社会課題を解決する新たなビジネスを育ててみたい。だから、もっともっと語り合いたいです。



COMPANY's Profile

株式会社リンクレア

### 本社

〒108-0075 東京都港区港南2丁目16番3号  
品川グランドセントラルタワー23F

### 九州オフィス

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目13-6  
いちご博多イースビル6F

### 【事業内容】

- ・企業の業務課題に応じた AI活用の提案
- ・システムのクラウド導入支援
- ・ITコンサルティング
- ・システム構築
- ・人財育成サービス
- ・DX[デジタルトランスフォーメーション]支援